

電報 (秘密暗號法)

東京、一九三九年 (昭和十四年) 十月二十日

四時一二分

到着、一九三九年

十月二十日

一二時四〇分

十月二十日ノ第六〇七號

本日ノ新聞ノ主要題目ハ最近「アメリカ」カラ歸任シタ「グループ」大使ノ當地ニ於ケル日米協會デシタ演説デアル、大使ハ先ヅ自分ガ日米ノ長イ間ニ亘ル友人デアルコトヲ告白シ、彼ノ主要任務ハ日米關係ノ改善ヲ述ベタ、コレノ實行ハ、「アメリカ」ノ利害ニ非常ナ損害ヲ與ヘテキル日米ノ支那ニ於ケル行動ニヨツテ特ニ困難ニサレテキル、ソレ故ニ「アメリカ」ノ輿論ハ一發シテ反日ノ態度ヲ持ツテキル、大使ハ普遍ニ見ラレナイ鋭サヲ以テ九ヶ國條約ノ重要ト門戶開放ヘ復歸ヲ要求シタ、日米ハ支那ニ於ケルコノ門戶開放ヲ、全ク擱置ノナイ形ニ於イテノミ列國ニ對シテ認メ讓トシテキルノデアルト、新聞ハ最初ノ論評ニ於イテコノ演説ヲ、日米ノ支那政策ニ對スル鋭イ拒絶デアルトシテキル、紹エズ通告サレテキタ「アメリカ」トノ妥協ノ試ミノ第

Ref. No. # 1635

44
Ref No # 1635

一歩ハコレニヨツテ阿部内閣ニトツテ不利ニ始ツタ、コレ以上ノ影響
ガ甚レタ時ニハ直ニ電報ヲ報告スル、

「オット」